

第2学年音楽科学習指導案

期日：平成25年11月25日（月）5校時

学級：山田町立山田中学校2年2組

男子16名 女子17名 計33名

指導者：千葉尚子

1. 題材名「歌舞伎の伴奏音楽としての長唄の音楽的効果を感じ取ろう」

教材 長唄「勸進帳」（三世 並木五瓶作／四世 杵屋六三郎作曲）

2. 題材について

本題材は、歌舞伎「勸進帳」の長唄（三世 並木五瓶作／四世 杵屋六三郎作曲）を教材とし、表現（歌唱）と鑑賞の活動を関連付けた題材である。学習指導内容は「A表現」（1）歌唱の事項イ「曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと」、「B鑑賞」（1）鑑賞の事項ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」、イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること」、[共通事項]のうち音色（長唄の発声による声の音色）、リズム（間）、旋律（節回し、産字、唄い尻）をもとに設定する。

長唄を聴いたり唄ったりして、歌舞伎の物語や演出などに関心を持って鑑賞をする。その上で、長唄の音楽を形づくっている、音色、リズム、旋律の知覚・感受を深めながら長唄にふさわしい声、言葉の発音などを工夫して歌唱する体験を生かして、歌舞伎の伴奏音楽としての長唄の音楽的効果を考えながら、歌舞伎音楽の鑑賞を深めることにつなげたい。

3. 題材の目標

- (1) 長唄「勸進帳」の特徴に関心を持ち、音色（長唄の発声による声の音色）、リズム（間）、旋律（節回し、産字、唄い尻）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、主体的に歌唱したり鑑賞したりする。
- (2) 長唄「勸進帳」にふさわしい音色（長唄の発声による声の音色）、リズム（間）、旋律（節回し、産字、唄い尻）を追求し創意工夫をして歌唱する。
- (3) 長唄「勸進帳」にふさわしい音楽表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけて歌唱する。
- (4) 長唄「勸進帳」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解したり、物語や演出などと関連付けて理解したりして、歌舞伎音楽を鑑賞する。

	いて知る。		
2	<p>1. 長唄の特徴を感じ取る CDで、長唄「勸進帳」の一部を聴き、長唄の声の音色、リズム、旋律の雰囲気や味わいなどに関心を持つ。</p> <p>2. 長唄に挑戦する（個人） CDに合わせてながら「月の都を～」の部分の声や歌い方を模倣して歌う。</p> <p>3. 長唄の挑戦する（グループ） グループに分かれて、模造紙に図形楽譜を作り、CDを繰り返して聞き、「月の都を～」の部分の声の音色、間、節回し産字、唄い尻を工夫して唄う。</p> <p>4. グループで完成したものを提示して、特徴ある部分をどのように捉えたのか、工夫したのか、意見交換し合う。 グループの図形楽譜を見て、学習カードに個人の図形楽譜として、色ペンで補充記入する。</p> <p>5. 特徴を捉えて全員で唄う。</p>	<p>観点1②</p> <p>観点2①</p>	<p>観察</p> <p>学習プリント②</p> <p>生徒の発言内容</p>
3	<p>1. 長唄に挑戦する（グループ） 「月の都を～」の部分の特徴を捉えながら、音楽表現の創意工夫をする。</p> <p>2. 発表する（グループ） 「月の都を」の部分について、思いや意図を持って、グループごとに演奏発表する。</p> <p>3. 総合芸術「歌舞伎」について知る。</p> <p>4. 鑑賞する 長唄「勸進帳」の「次第～月の都を」</p>	<p>観点3①</p> <p>観点4②</p>	<p>観察</p> <p>学習プリント③</p> <p>参考資料②</p> <p>生徒の発言内容</p> <p>批評文</p>

<p>「ついには泣かぬ～」の部分、 長唄（唄、三味線、囃子）の特徴 と物語や歴史等と関連づけて理解 して鑑賞する。</p> <p>5. 紹介文を書く</p>		
--	--	--

6. 指導と評価の展開

(1) 本時の目標

- ・長唄「勸進帳」の音色、リズム、旋律の関わりに関心を持ち、それらを生かした音楽表現を工夫して唄う学習に主体的に取り組む。
- ・長唄「勸進帳」のふさわしい音色、リズム、旋律を追求し創意工夫して歌唱する。

(2) 本時の題材の評価規準と生徒の学習状況

生徒の学習状況 評価規準	B おおむね満足できる	A 十分に満足できる
<p>[観点1②] 長唄の音色、リズム、旋律に関心を持ち、それらを生かして唄う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>長唄の音色、リズム、旋律について記述し、自ら発言したり、他者の意見に反応したりして、積極的にCDの演奏をまねしている。</p>	<p>長唄の音色、リズム、旋律について、自分が感じ取ったことや考えたことを他者に伝えようと発言したり、意見をもとに演奏のまねをしている状況がみられる。</p>
<p>[観点2①] 長唄の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫しどのように唄うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>長唄の音楽の特徴について音色、リズム、旋律に注目して記述したり発表したりしている。</p>	<p>長唄の音楽の特徴について音色、リズム、旋律に注目して、節回し、産字、唄い尻などの言葉を使って、自分の考えを具体的に記述したり発表したりしている。</p>

努力を要する生徒（C）への支援の手立て

<p>[観点1②] ・友達の見意見を参考にして、長唄の音色、リズム、旋律の特徴に気付かせる。</p> <p>[観点2①] ・グループでの話し合いの中から、記述するヒントを見つけて記述するよう指示する。</p>
--

7. 本時の展開

ねらい・学習活動	指導上の留意点	題材の評価規準との関連	教材教具など
1. 前時の授業内容の確認をする。	前時の授業内容（長唄の特徴「産字や節回し等」）について思い出させる。		CD 旅の衣は～
長唄「勸進帳」にふさわしい音色、リズム、旋律を追求し工夫して表現しよう。			
2. 長唄の特徴を感じ取る CDで、長唄「勸進帳」の一部を聴き、長唄の音色、リズム、旋律の雰囲気や味わいなどに関心を持つ。	学習プリントに声の音色、産字や節回しについて気付いたことを記述させる。	観点1②	CD 月の都を～ 学習プリント
3. 長唄に挑戦する（個人） CDに合わせて声や歌い方を模倣して唄う。	実際に声を出して声の感じをまねたり、節の動きを手で表現させる。		CD 月の都を～
4. 長唄に挑戦する（グループ） 模造紙に図形楽譜を作り、声の音色、間、節回し、産字、唄い尻に気をつけて唄う。	繰り返しCDを聴き、グループ内で意見を交流しながら、模造紙に図形楽譜を作り、声の音色、間、節回し、産字、唄い尻など試行錯誤して歌わせる。	観点2①	模造紙,付箋 CD 月の都を～
5. 意見交換 グループ完成したものを提示して特徴ある部分をどのように捉えたのか、工夫したのか発表する。	今日練習したなかで、特に気を付けて表現した部分について発表させ、特徴となる部分に気付かせる。グループで話し合ったり、発表を聴いて気付いたことを色ペンで加筆させる。		模造紙 学習プリント
6. 特徴をとらえて全員で唄う。			CD 月の都を～
7. 自己評価する。	今日の学習でわかったことをまとめさせる。		学習プリント